
はじまり

透明海

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
はじまり

【Nコード】
N4228E

【作者名】
透明海

【あらすじ】
四歳で恋をし、以後恋多き女だった、それはいつも、人生観が変わりそうなほどで。若い理想的な親に産み育てられた自分自身の実際の恋の軌道を描く。

若いうちは沢山の恋をするものだ。初めて恋をしたのは、4才だった。

私の父は運送会社で働いていて、当時おんぼろ社宅に住んでいた。同じ社宅で違う塔に住む一個下の男の子に恋をしていた。

私の母は私と同じくらい手紙通で、その子にある日、ラブレターを書こうと提案してき、私は髪の長い女の子の絵と好きだとゆうメッセージ付きの手紙を、一緒にポストに笑いながら入れに行った。

その男の子の母がとても喜んでくれていた。私は恋愛結婚をした親の子だからか、信じられないくらい初めての恋が楽しかったことを覚えている。家族ぐるみで、行った海、山、大きな岩の上から川を共に見ている、花柄のフリルのワンピースに、ポニーテールの私、写真に写る私はやっぱり楽しそう。

私立幼稚園に通いそこではまた男の子を好きになり、その子の前で園の広場真ん中で、女三人スカートをチラつてしたことがある。ゲラゲラ笑った。小学校に入り、二人の子を好きになった。派手な恋愛劇をしてきた。図書室で、仲良く絵本を読んだり、休み時間に、みんなでゲームをしていて罰は、好きな子と私がキスをするというもので、本当に負けてキスをされることとなった。

4才の恋があったものだから何食わぬ顔で平然とその場を去った。

思春期にも、とてもきれいな顔の男の子に惚れたりした。

林間学校の、キャンプファイヤーにトキメいたり、その子の、話術に惚れ込んでいた。舞台があれば、恋はするものらしく、好意を見せられた子とはほとんど恋をしてきた。

実は私の父は、郷ひろみ似で母は松田聖子に似ていた。そのお陰で自分でゆうのも何ですが菅野美穂に似ているとゆう私が出来た。そんな私の沢山の恋を振り返り思ったのは、こういった経験からくる感情は今もなお日々培われて行き、それを少なからず言葉にしてゆ

くことは自身にとってよいことだ。大切にしていきたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4228e/>

はじまり

2010年10月22日14時01分発行